

ゼミナール紹介

担当者名	岡野雅雄
e-mail アドレス	okano@bunkyo.ac.jp
研究室	3210 室
在室曜日・時限	新型コロナの影響により、不定期となっています。相談希望の方はまずメールにてお問合せください。
個別相談など (日時・方法)	まずメールにてお問合せください。必要に応じて、Google Meet により、あるいは直接、個別相談をしたいと思います。
選抜方法	もし定員以上となったら、ゼミ内容と志願理由の適合性および成績によって選抜します。
ゼミナールに 関連する科目	コミュニケーション論基礎、言語コミュニケーション論、記号論
2020 年度担当科目	コミュニケーション論基礎、言語コミュニケーション論、記号論、基礎演習A、プレゼミナールB、ゼミナール、卒業研究
授業概要	<p>◆本ゼミナールの<u>基本的なテーマ</u>は、「<u>言語あるいは記号によるコミュニケーション</u>」です。</p> <p>最終的な到達目標は、<u>各自の設定したテーマについて必要な資料やデータを集めて分析し、論文を作成する能力を身につける</u>ことです。論文を作成することで、原稿用紙換算で 50 ページ以上のしっかりした文章を執筆する能力を身に付けていただきたいと思います。</p> <p>「卒業研究」で論文を書くことを前提にゼミを進めてゆきますので、ゼミ選択の際には注意してください。</p> <p>◆ゼミナールの具体的な<u>進め方</u>は、以下のとおりです。</p> <p>春学期は、コミュニケーションに関する文献を購読します。そして、その内容にもとづいて発表し、討議します。秋学期は、より卒論を意識して情報収集・購読・討議を行います。</p> <p>その過程で、以下にあげるような知識・技能を身につけます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レジュメ作成の方法、口頭発表の仕方、新聞、雑誌記事の検索、調査結果のまとめ方、グラフや表の作成、問題発見(リサーチ・クエスションの設定)、原稿執筆のためのアウトライン作成・論文の構成・校正等

ゼミナール紹介

担当者名	奥村真司
e-mail アドレス	okumuras@bunkyo.ac.jp
研究室	3307
在室曜日・時限	新型コロナの影響により、不定期となっています。まずは、メールで連絡してください。
個別相談など (日時・方法)	メールにてお問合せください。必要に応じて、Google Meet により個別相談をしたいと思います。
選抜方法	定員以上となった場合には、ゼミ内容と志願理由の適合性および成績によって選抜します。
ゼミナールに 関連する科目	下記科目
2021 年度担当科目	英語 IA, IIA、情報英語 B、基礎演習 A、プレゼミナール C、ゼミナール I, II
授業概要	<p>【ゼミナールのテーマ】 グローバル化とは、技術の進歩によって、これまでの国や地域といった物理的な垣根を超え、ヒト、モノ、カネ、情報が結びつき、世界の一体化が進むことです。グローバル化について考えることは、これからの社会を生きていく皆さんにとって大切なことです。本ゼミナールでは、「グローバル化」をテーマとして、移民問題、情報社会の変化、グローバル化と教育改革、グローバル化と英語、グローバル化における日本社会のあり方などについて考えていきます。</p> <p>【ゼミナール I の活動】 資料や文献をもとにグローバル化のさまざまな事象について皆で考えていきます。授業内でのディスカッションも行います。</p> <p>【ゼミナール II の活動】 ゼミナール I で学習した内容をもとに、自分の研究テーマを設定し、文献収集、文献購読、ポスター発表・ディスカッションを行います。この活動は、卒業論文作成の土台となります。</p> <p>【卒業研究】 各自が 3 年次に設定した研究テーマについて、文献やデータを集めて分析し、論文を作成します。このゼミにおける論文執筆は、1 年間を通して、定期的に作法を学びながら、執筆の部分提出が必須となります。定期的に提出された執筆部分を最終的に整えて論文を完成させ、口頭発表・ディスカッションを行います。したがって、<u>欠席や課題の未提出が続くと論文の完成に至りません。ゼミ選択の際には、この点を十分考慮してください。</u></p>

ゼミナール紹介

担当者名	清水一彦
e-mail アドレス	shimizu1@bunkyo.ac.jp
研究室	5404
在室曜日・時限	月曜日 昼休み、3限、5限終了後は対応可（2限、4限、5限は授業） 水曜日 3限は対応可（2限は授業。ただし第2、3水曜日の午後は会議で不在） 木曜日 昼休み、3限、5限は対応可（2限、4限は授業）
個別相談など（日時・方法）	メールでアポを取ること。 個別相談を受けない学生は選抜しません。
選抜方法	志望書（希望理由、自己PRなど1000字以内）、成績、面接。
ゼミナールに関連する科目	3年次終了までに必修：出版論、出版文化論、インタビュー・取材演習、記事制作A 推奨：出版演習、写真技法、情報表現デザイン、ジャーナリズム論
2021年度担当科目	出版論、出版文化論、出版演習、インタビュー・取材演習、記事制作A、マス・コミュニケーション論、プレゼミA、小説・評論演習
授業概要	<p>将来、出版業界で仕事をしたい学生を対象としたゼミナールです。到達目標は、編集を実践し、さらに出版学分野での卒業論文を完成させ、出版社の就職試験で勝負ができるようになることです。そのために、雑誌つくりと、出版コンテンツの内容分析、出版の学術的な研究をします。多量の出版物の購読もします。雑誌つくりや研究は本気で取り組まないと落ちこぼれます。覚悟をした上でゼミナール活動に参加してください。</p> <p>2年の冬からゼミを開始します。出版物の購読・内容分析と出版学の知識を習得しながら、各自が選んだテーマの研究プレゼンテーションをします。その後、3年の夏前から冬にかけて、64～72ページ程度の本格的な雑誌づくりをします。出版業界のプロに見せても恥ずかしくないレベルを目標します。企画、取材、撮影、デザイン、DTP、執筆など、一連の編集作業をすべて学生自身でおこないます。撮影機材、デザイン用パソコンとソフトは用意してありますが、資料購入費、取材経費、旅費・交通費などは自己負担となります。</p> <p>ゼミ活動の拘束時間は長くなります。雑誌つくりは週1回の授業時間内では終わりません。また、雑誌つくりはチームプレイです。編集技術と同時にコミュニケーション力、責任力、共感力も養います。アルバイトなど個人的な都合や気分でゼミを欠席したり、ないがしろにすることは許しません。</p> <p>4年生の卒業研究では、卒業論文を書きます。テーマは出版に関連することなら、産業、歴史、コンテンツ論、メディア論など幅広い範囲から各自の興味にしたがって選べます。ただし、学術論文としての完成度を求めます。1年間じっくり研究に</p>

取り組みます。おおよそのスケジュールとしては、雑誌完成後から4年の春にかけて、文献購読、テーマの設定とプレゼンテーションを経て、夏休み前に第1回中間発表会。夏休み明けに第2回中間発表会と草稿提出。年内に完成稿提出。年明けに研究発表会です。

以上を十分に了解してからゼミに来てください。

ゼミナール紹介

担当者名	白土由佳
e-mail アドレス	yuka@bunkyo.ac.jp
研究室	3402
在室曜日・時限	水曜日
個別相談など (日時・方法)	ゼミナール見学はオンラインで実施します。日時は10/13(水) 11:40-12:20です。3年生のみなさんが秋学期に取り組むグループ研究のテーマ報告をします。見学希望の方は、ZoomのURLをお伝えするため、メールにてご連絡ください。 個別相談もオンラインで行います。日程調整のため、メールにてご連絡ください。
選抜方法	希望者が定員を上回った場合は、面談にて選抜します。
ゼミナールに関連する科目	下記科目
2021年度担当科目	卒業研究、ゼミナールI・II、デジタルメディア論、情報学特殊講義A、インターネットビジネス論、コンテンツ発想法、文献講読、プレゼミナールC、基礎演習A
授業概要	<p>■ 概要</p> <p>本ゼミナールでは、ソーシャルリスニングというアプローチを学び、みなさんの身の回りにある様々なおもしろいことの分析を通じて、私たちは今、どのような社会に生きているのかを考えていきます。</p> <p>ソーシャルリスニングとは、自然に発生した人々の会話や行動などを分析し、人々の実生活に基づいた意見を活用することです。例えば、2020年度のゼミナールでは、コロナ禍を共通テーマとして、Twitterのデータ分析を行っています。「あなたの番です」というテレビ番組の実況は、放送回を経るにつれてどのように変化していったのか、#自粛警察は何を取り締まっているのか、などについてグループ研究を行っています。2021年度のゼミナールでは、ラスカ茅ヶ崎様とSNSの多角的分析を通じたハロウィン関連の投稿内容の提案を行いました。</p> <p>ソーシャルリスニングは、探索的なアプローチで分析を進めていきます。トライアンドエラーを繰り返しながら、データ分析を楽しんでいきましょう。</p> <p>■ 到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ RやGoogle Colaboratory、KH Coderなど、データ分析ツールが使用できる。 ・ ソーシャルリスニングの一連の流れを理解し、実践することができる。 <p>■ スケジュール</p> <p><u>3年生</u>：春学期は、ソーシャルリスニングの流れを学び、ラスカ茅ヶ崎様との共同研究に取り組みます。秋学期は、毎年12月頃に開催される他大学と合同の研究発表会(教員の所属する学会の研究部会)を目指してグループ研究に取り組みます。4年生の卒業研究の中間・期末発表にも参加します。</p> <p><u>4年生</u>：卒業研究と、3年生へのアドバイザーとしてグループ研究をサポートします。</p>

ゼミナール紹介

担当者名	竹林 紀雄 ※2022 年度春学期は、代行教員が代講し、以降、卒業まで竹林が担当します。
e-mail アドレス	noritake@bunkyo.ac.jp ※代行教員の連絡先は 9/29 の説明会でお知らせします。
研究室	3411
在室曜日・時限	在外研修中のため研究室で対応できません。
個別相談など (日時・方法)	日時、方法については、9/29 の説明会でお知らせします。
選抜方法	志望者は原則的に受け入れます。ただし、定員を大きく上回った場合はオンライン面接や簡単な試験等により選抜します。
ゼミナールに 関連する科目	3 セメスターまで ○演習系科目 「映像表現Ⅰ」、「映像ポストプロダクション演習」、「映像技術演習」、 「テレビ企画構想演習」、 4 セメスター以降 ○演習系科目 「映像表現Ⅱ」、「テレビ番組制作 (スタジオ)」、「アニメーション制作 C (アート表現)」 ○講義系科目 「ドキュメンタリー論」、「映画史」、「映像表現論」、「映像プロデュース論」
2021 年度担当科目	春学期 「卒業研究Ⅰ」、「ゼミナールⅠ」、「映像表現Ⅰ」、「ドキュメンタリー論」、「放送論」、 「テレビ企画構想演習」、「映像プロデュース論」「映像メディア特論」(大学院)、「情報学特別演習Ⅰ」(大学院) 秋学期 ※以下の科目は今期のみ代講の先生が担当します。 「卒業研究Ⅱ」(内田弘明先生)、「ゼミナールⅡ」(森憲一先生)、「映像表現Ⅱ」(中島崇先生)、「映像表現論」(中島崇先生)、「映画史」(中島崇先生)、 「テレビ番組制作 (スタジオ)」(内田弘明先生)、「プレゼミナール A」(井坂聡先生)
授業概要	竹林ゼミナールでは、在京テレビ局をはじめ映像業界と連携し、テレビ・映像分野全般のプロフェッショナル育成を視野に入れた映像表現教育を行う。具体的には、様々なジャンルの独創的な映像作品を鑑賞し、映像表現への理解を深めると共に、映像作品の制作に取り組む。課題作品の制作に臨むにあたってゼミ生に求めるのは、これを課題として捉えるのではなく、対外的にも「作品」として主張できるものを手掛ける姿勢をもつことである。優れた作品は、映画祭や映像フェスティバルに積極的に橋渡しをする。ゼミの課外活動としては、日本テレビやフジテレビ等で行うテレビ局研修。テレビ局内の様々な放送施設を見学し、局内のスタジオやサブルームで生放送番組を体感する研修である。また、ゼミ生全員参加で毎年実施する合宿形式の研修も行う。コロナ禍により活動が制約される可能性はあるが、2022 年秋以降に 3 泊前後で国際的な映画祭などへ参加する予定である。この他にも、主に都内での映像作品の鑑賞や映像フェスティバルへの参加、またテレビ業界や映画業界の第一線で活躍する方々との交流も予定している。さらに、学外での取材・ロケの実習を日常的に行う。このように、ゼミ活動に時間を要するので、部活動やサークル、アルバイトなどで忙しい人には向かないゼミである。

ゼミナール紹介

担当者名	日吉 昭彦
e-mail アドレス	hiyoshi@bunkyo.ac.jp
研究室	<p>5405（日吉研究室）はこんな感じ。テレビが16台あり、地上波とBSデジタル放送を全チャンネル同時に見れますよ。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div> <p>コロナ禍でなかなか入れないかもしれませんが、上記QRコードでgoogle MEETのバーチャル研究室にお気軽に入室ください。</p>
在室曜日・時限	コロナ禍のなか、定期の在室時間がなく、講義科目は全面オンデマンド授業のため、ご質問・ご相談があれば google MEET で対応します。メールで気軽に MEET する時間の予約を取ってください。
個別説明会 (日時・場所)	個別の説明会：基本 google MEET で対応します。しかし、募集期間中の「水曜2限」が、オンラインではなく対面で実施している場合は、ゼミ教室に気軽に訪問ください。その場合は5501教室です。ただし、現段階でオンラインか対面か、は分からないので、詳しく知りたい方は、メールで聞いてください。
選抜方法	定員を超えた場合は、プレゼンテーション等を行う予定です。詳しくは別途連絡します。 (なお、メディア表現学科以外の方は、エントリー前に、必ず事前相談の上、エントリーした場合は、必ずプレゼンテーション等が行われます)
ゼミナールに関連する科目	社会調査士関連科目、メディア効果論など。 あと社会学概論も(^)v
2021年度担当科目	社会学概論 メディア社会学 社会調査論 メディア調査研究法Ⅲ メディア効果論 プレゼミナールB ゼミナール 卒業研究 大学院
授業概要	<p>本ゼミナールは、メディア社会学やマス・コミュニケーション論、メディア文化論などの分野を専門としたいみなさんと、さまざまなメディア研究を行うゼミです。</p> <p>具体的には、「メディアの内容分析法」という、統計データを用いてメディア・メッセージの分析を行う方法を学びます。また、実際に演習形式で分析を行うことを通じて、実証的なメディア研究の方法を身に付けることも目標とします。</p> <p>春セメでは「メディアの内容分析法」の研究方法を学び、秋セメには実際に分析を行います。3年次の分析対象は、基本的には「テレビ」となります。</p> <p>メディア・メッセージの分析方法である「内容分析」の方法を身に付け、将来的には卒論などで多角的な現代社会のメディア（たとえば、ソーシャルメディアなど）を専門的に分析でき、社会でその方法を活用（たとえば、メッセージを分析したビッグデータをマーケティングに利用するなど）し、キャリアに活かせるようになることが目標です。</p>

ゼミナール紹介

担当者名	藤掛正邦
e-mail アドレス	fujikake@bunkyo.ac.jp
研究室	5407 研究室
在室曜日・時限	相談内容を fujikake@bunkyo.ac.jp へご連絡ください。回答いたします。
個別相談など	相談内容を fujikake@bunkyo.ac.jp へご連絡ください。回答いたします。
選抜方法	志望理由書、GPA 値をもとに選抜します。希望者が定員を上回った場合は、藤掛デザイン授業で制作したベスト3の作品を fujikake@bunkyo.ac.jp へ送付下さい。
ゼミナールに関連する科目	情報表現デザイン、広告表現Ⅰ、広告表現Ⅱを履修していることが望ましい。履修していない場合は、次年度履修することを推奨します。
2021 年度担当科目	情報表現デザイン、広告表現Ⅰ、デザイン論(秋/春)、広告企画演習、広告表現Ⅱ、プレゼミナールC、ゼミナールⅠ/Ⅱ、卒業研究Ⅰ/Ⅱ
授業概要	<p>本ゼミナールは、オンライン(オンデマンド型)授業です。地域企業とコラボして、催事装飾デザイン、小冊子編集デザイン、広報/広告ポスター制作能力を育成することを目標とします。コンテンツ研究とデザイン制作技術、広告コミュニケーションとデザイン理論、それらの学修成果を基に、社会連携/社会貢献を推進しています。</p> <p><u>ゼミナールⅠ/Ⅱ課題</u> 4月～9月、ラスカ茅ヶ崎催事の装飾デザイン制作/設営 7月中旬、茅ヶ崎市民ギャラリー個展の観覧/アンケート 9月初旬、MOA美術館取材撮影日帰り合宿 取材/撮影 9月～1月、MOA美術館の広報小冊子編集デザイン 1月～2月、就活準備のためのゼミ作品ポートフォリオ制作</p> <p><u>卒業研究Ⅰ/Ⅱの課題</u> 各自テーマを決めて、自由小冊子編集デザイン、自由広告ポスターデザインを制作</p> <p>2021 年度ゼミ内容例(2022 度ゼミ内容もほぼ同様です。程よく忙しいゼミです。) ハロウィン・イラストポスター制作/展示(10/1～10/31 ラスカ茅ヶ崎 5F 川上書店前) ハロウィン・フォトスポットデザイン制作/展示(10/1～10/31 ラスカ茅ヶ崎 3F 入口) フォトスポットデザイン発表会、ゼミ生プレゼン(7/28 ラスカ茅ヶ崎 6F ホール) フォトスポットデザイン設営作業(9/30 営業終了後 3F 正面入口ゼミ生による設営) 茅ヶ崎駅徒歩3分茅ヶ崎市民ギャラリーにて「第4回藤掛正邦のイラストと広告デザインとメタルアート展 1991-1993」観覧(7月中旬予定) 第3回熱海MOA美術館取材撮影合宿(9月初旬コロナ渦しだいで、日帰りか一泊) MOA美術館の報小冊子と広報ポスター制作。 前半課題は、昨年のMOA広報小冊子のタイトル「海に見える天空のオアシス」からイメージしたファンタジー・イラストレーションを制作。 後半課題は、MOA美術館広報小冊子の誌面編集デザイン。MOA茅ヶ崎健康生活ネットワークと茅ヶ崎市役所などを通じ、茅ヶ崎市立病院、茅ヶ崎保健所、市内クリニック、協賛企業などの組織に3000部を寄贈し、看護師、医療関係者へ届けた。 3年ゼミ成果物を、作品ポートフォリオに編集デザインし、就職活動で活用する。</p>

ゼミナール紹介

担当者名	村井 睦
e-mail アドレス	https://sites.google.com/a/shonan.bunkyo.ac.jp/murai/ を確認
研究室	3409
在室曜日・時限	https://sites.google.com/a/shonan.bunkyo.ac.jp/murai/ の office hour を確認
個別相談など (日時・方法)	https://sites.google.com/a/shonan.bunkyo.ac.jp/murai/ にて、オンラインでのゼミ見学・説明会・個別相談について確認してください。
選抜方法	選抜方法は面接（オンライン）や GPA などを総合的に評価し選抜します。
ゼミナールに 関連する科目	なし
2021 年度担当科目	基礎演習 B、プレゼミ A、インタラクティブメディア概論、情報表現デザイン、クリエイティブ演習、Web デザイン
授業概要	<p>少人数による専門性の高い演習形式の授業である。内容は、各教員の専門によって特化したものになる。理論系のゼミナールでは、各自の設定したテーマについて必要なデータを集めて分析し、論文を作成し、口頭発表する能力を身につける。制作系のゼミナールでは、雑誌・ポスター・CG 作品など、各種メディアにおけるコンテンツ制作を行う能力を身につける。</p> <p>本ゼミナールでは、新しい技術を積極的に取り入れ、旧来からの表現の枠にとらわれない新しい視覚伝達の領域を模索していく。映像・紙・Web などのメディアを横断的に学ぶ事により総合的な表現力や情報発信力を習得する事を目的とする。またグループワークを多く取り入れてコミュニケーション能力を高める事も重要な学習目的となる。</p> <p>*詳細は下記を参照してください。 https://sites.google.com/a/shonan.bunkyo.ac.jp/murai/</p>

ゼミナール紹介

担当者名	新任 B(社会学・人文学)
e-mail アドレス	
研究室	
在室曜日・時限	
個別相談など (日時・方法)	
選抜方法	GPA(100 点):GPA の値を 100 点満点に換算して採点する。
ゼミナールに 関連する科目	
2021 年度担当科目 (予定)	文章演習 1・II、インターネットコミュニケーション、プレゼミナール B、キャリア研究 A、文献講読、情報学特殊講義 A、ゼミナール I・II 等
授業概要	2022 年度 4 月着任予定です。 個別相談は、学科長の岡野、または教務委員の白土が代わりに実施します。希望する学生は必ず個別相談を受けてください。

ゼミナール紹介

担当者名	新任 C(経営学・経済学)
e-mail アドレス	
研究室	
在室曜日・時限	
個別相談など (日時・方法)	
選抜方法	GPA(100 点):GPA の値を 100 点満点に換算して採点する。
ゼミナールに 関連する科目	
2021 年度担当科目 (予定)	マーケティング・コミュニケーション論、コミュニケーションメディア論、プレゼミナール A、広告概論、テレビコマーシャル論、コミュニケーション・プランニング論、ゼミナール I・II 等
授業概要	2022 年度 4 月着任予定です。 個別相談は、学科長の岡野、または教務委員の白土が代わりに実施します。希望する学生は必ず個別相談を受けてください。